

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公表番号】特表2006-508219(P2006-508219A)

【公表日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-010

【出願番号】特願2004-556147(P2004-556147)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/521 (2006.01)

C 0 8 L 51/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/521

C 0 8 L 51/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月17日(2006.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A) ポリカーボネート、ポリエステルカーボネート、ポリアミド、ポリアルキレンテレフタレートおよびポリオキシメチレンの群から少なくとも1つが選択される、熱可塑性樹脂(thermoplastic)または熱可塑性樹脂の混合物、および

B) 少なくとも2つのグラフトポリマーB.1およびB.2の共沈(co-precipitation)によって得られた混合物
を含有する組成物。

【請求項2】

難燃剤(flameproofing agents)を含有する、請求項1記載の組成物。

【請求項3】

ビニル(コ)ポリマーを含有する、請求項1記載の組成物。

【請求項4】

モノマー状およびオリゴマー状リン化合物の群から少なくとも1つが選択される難燃剤を含有する、請求項2記載の組成物。

【請求項5】

ビニル芳香族化合物、ビニルシアニド、(メタ)アクリル酸(C₁-C₈)-アルキルエステル、不飽和カルボン酸および不飽和カルボン酸の誘導体の群から少なくとも1つのモノマーに基づいたビニル(コ)ポリマーを含有する、請求項3記載の組成物。

【請求項6】

各々の場合

i) 少なくとも1つのビニルモノマー5~95重量%と

ii) ガラス転移温度<10を有する1つ以上のグラフトベース95~5重量%

である、少なくとも2つのグラフトポリマーB.1およびB.2の共沈により得られた混合物を含有する、請求項1記載の組成物。

【請求項7】

モノマー i) が、

i 1) ビニル芳香族化合物、環置換されたビニル芳香族化合物、および (メタ) アクリル酸 ($C_1 - C_8$) - アルキルエステルから選択される、少なくとも 1 つのモノマー 50 ~ 99 重量部、および

i 2) ビニルシアニド、(メタ) アクリル酸 ($C_1 - C_8$) - アルキルエステルおよび不飽和カルボン酸の誘導体から選択される、少なくとも 1 つのモノマー 1 ~ 50 重量部の混合物である、請求項 6 記載の組成物。

【請求項 8】

グラフトベースが、ジエンゴム、EP(D)M ゴムおよびアクリレートゴムの群から少なくとも 1 つが選択される、請求項 6 記載の組成物。

【請求項 9】

グラフトポリマー B . 1 : B . 2 の重量比が 95 : 5 ~ 5 : 95 である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 10】

グラフトポリマー B . 1 : B . 2 の重量比が 90 : 10 ~ 25 : 75 である、請求項 9 記載の組成物。

【請求項 11】

グラフトポリマー B とビニル (コ) ポリマー B . 3 との重量比が 90 : 10 ~ 10 : 90 でビニル (コ) ポリマー B . 3 を含有する、請求項 3 記載の組成物。

【請求項 12】

A) 20 ~ 98 . 5 重量部および B) 1 . 5 ~ 80 重量部を含有する、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 13】

成形品の製造における、請求項 1 記載の組成物の使用。

【請求項 14】

請求項 1 ~ 12 記載の組成物から得られ得る成形物。